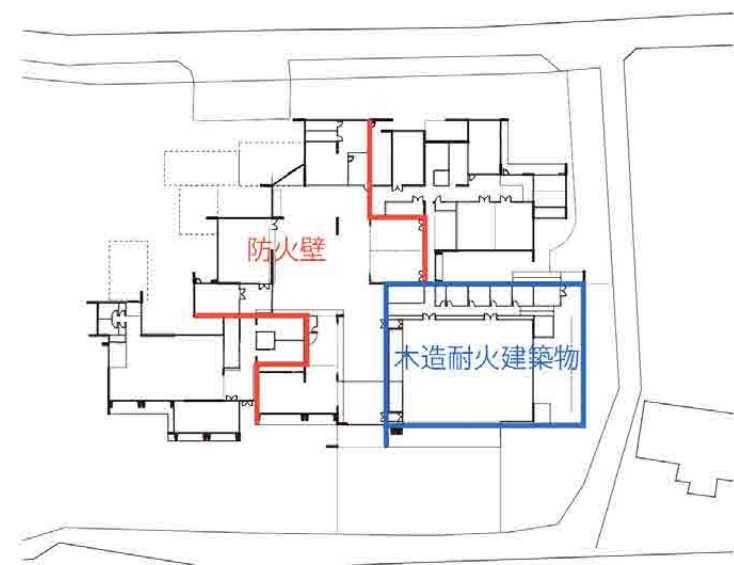




耐火構造についての考え方



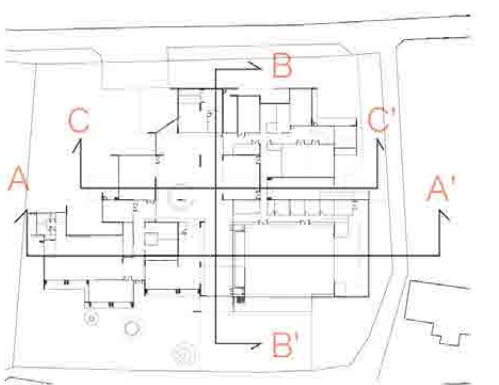
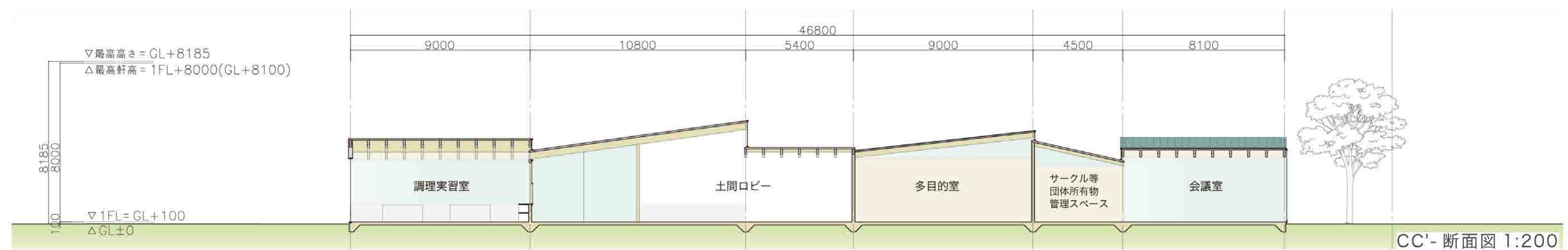
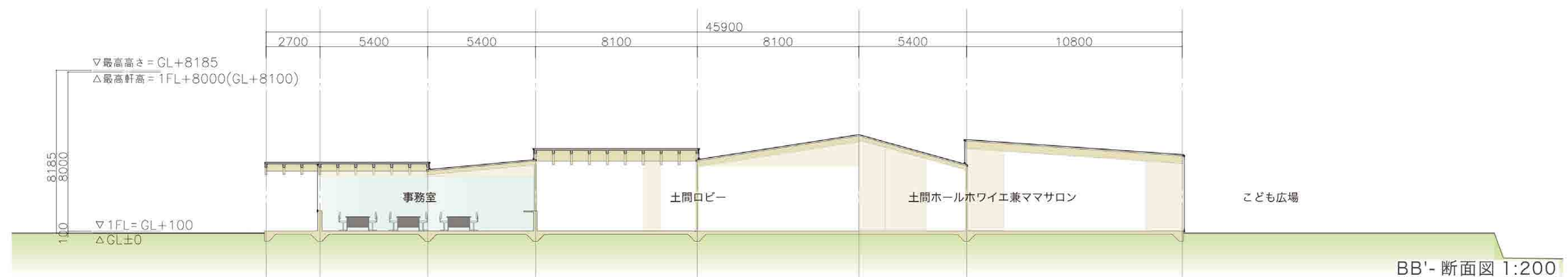
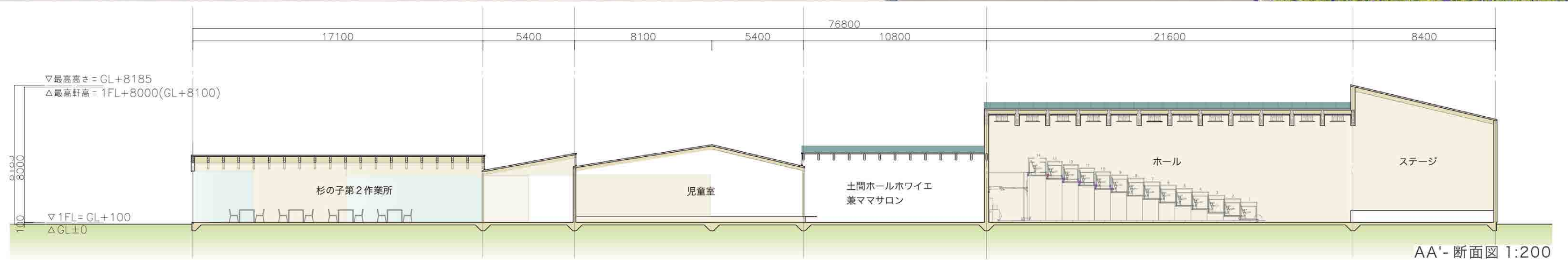
ホール部分を防火上別棟扱いとし、木造耐火構造とします。ホールの内装は石膏ボード二重貼りの上に木板仕上げとし、木の風合いを感じられる空間とします。また、建物全体を1000㎡以内で防火壁で区画することで、木現しの構造体を実現します。

積雪対応について

屋根上の積雪は耐雪とします。屋根同士の谷部については適切な樋を設けることで対処します。(提案書 p.5 参照)

雨天、降雪時の利用者の動線対策

各室には屋内の土間からアクセス出来ます。公民館、杉の子作業所ともに車寄せから雨に濡れずに館内に入ることが出来ます。



断面図キープラン